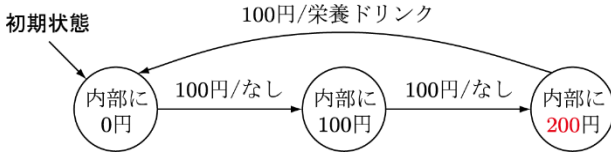
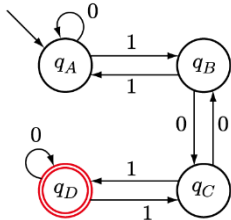
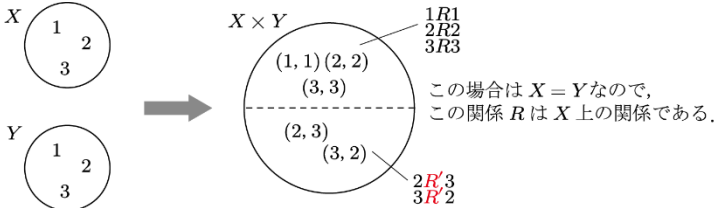


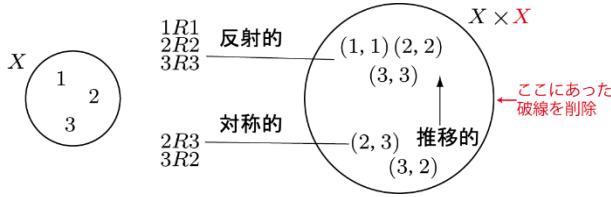
例解図説 オートマトンと形式言語入門 正誤表

本書の内容に以下の誤りがございました。お詫びして訂正いたします。

お手持ちの本の「刷数」とこの表の「該当刷数」が一致する箇所をご参照ください。お手持ちの本の「刷数」の調べ方は[こちら](#)

(2022 年 6 月 27 日更新)

該当刷数	頁	行数など	誤	正
1	4	図 1.5	右のように修正 (100 円→200 円)	
1,2	8	下から 2 行目	$\bigcup_{i \in \{1, \dots, n\}} A_i \dots$	$\bigcup_{i \in \{1, \dots, n\}} A_i \dots$
1	9	例 1.4 4 行目	$\dots, q(q_1) = \{q_1, q_3\}, q(q_2) = \dots$	$\dots, \delta(q_1) = \{q_1, q_3\}, \delta(q_2) = \dots$
1	12	例 1.8 3~4 行目	$\dots, q(q_1) = \{q_1, q_3\}, q(q_2) = \dots$	$\dots, \delta(q_1) = \{q_1, q_3\}, \delta(q_2) = \dots$
1	16	13 行目	$\bullet \sum^*$ 上の言語としては, \dots	$\bullet \sum$ 上の言語としては, \dots
1	52	図 2.51	右図のように左下の q_D を二重丸にする	
1	53	図 2.53	右のように修正 (R を R' に)	

該当刷数	頁	行数など	誤	正								
1	53	図 2.54	右のように修正（破線の削除， Y を X に）									
1	60	下から 9 行目	…も有限指数 指数 をもつ．（証明終）	…も有限指数をもつ．（証明終）								
1	61	6, 8 行目	MinimumDFA （2 箇所）	Minimum_DFA								
1	83	14 行目	スタックが空になるときに現れる ．初期記号ともいう．	初期記号ともいう．								
1	84	例題 4.2 解答例(2) 最下行	$\cdots \vdash_M (q_3, c, AZ_0) \vdash_M \cdots$	$\cdots \vdash_M (q_4, c, AZ_0) \vdash_M \cdots$								
1	93	下から 2 行目	$A_1 \rightarrow 1 A_2, \quad A_1 \rightarrow 1 A_1 A_2, \quad \cdots$	$A_1 \rightarrow 1 A_2, \quad A_1 \rightarrow 0 A_1 A_2, \quad \cdots$								
1	94	9 行目	…あとは， $N = \{A_1, A_2\}, \cdots$	…あとは， $N = \{Z, A_1, A_2\}, \cdots$								
1	97	下から 12 行目	…還元の様を表 4.7 に示す． …	…還元の様を表 4.3 に示す． …								
1	97	下から 5～2 行目	ステップ 5 の記述を右と差し替え	ステップ 5 でとりうる動作は，生成規則 $E \rightarrow T$ の適用による還元か， $T \rightarrow T \times F$ を適用するためのシフトである． そのどちらかかを決定するために 1 記号+を先読みし，適用できる規則が $E \rightarrow T$ のほうだと判断し，その結果，還元を選んでいる． これは，「 $E \rightarrow T$ により還元できるのは， T を E に還元したとすると E の直後に出現しうる終端記号は \$ か + か，あるいは) のとき」という G の導出に関する性質によっている．								
1	98	表 4.3	ステップ 9, 10 を右のように変更	<table><tr><td>9</td><td>$\times 1) \\$</td><td>$(E + F$</td><td>$T \rightarrow F$ により還元． F がハンドル</td></tr><tr><td>10</td><td>$\times 1) \\$</td><td>$(E + T$</td><td>1 記号先読みして次動作を決定 シフト</td></tr></table>	9	$\times 1) \$$	$(E + F$	$T \rightarrow F$ により還元． F がハンドル	10	$\times 1) \$$	$(E + T$	1 記号先読みして次動作を決定 シフト
9	$\times 1) \$$	$(E + F$	$T \rightarrow F$ により還元． F がハンドル									
10	$\times 1) \$$	$(E + T$	1 記号先読みして次動作を決定 シフト									
1,2	98	表 4.3	（ステップ 20 入力バッファ） \$	削除								
1	106	15 行目	…スタックトップの記号 A ， つぎの状態 q_1 の 3 つ…	…スタックトップの記号 A ， 「将来」の状態 q_1 の 3 つ…								

該当刷数	頁	行数など	誤	正
1	106	下から 5 行目	$\cdots \rightarrow a[q'B_1q^{(1)}][q^{(2)}B_2q^{(3)}]\cdots$	$\cdots \rightarrow a[q'B_1q^{(1)}][q^{(1)}B_2q^{(2)}]\cdots$
1,2	107	14 行目	$S \rightarrow [q_0Z_0q_1], [q_0Z_0q_1] \rightarrow 0[q_0Aq_1][q_1Z_0q_1]$	$S \rightarrow 0[q_0Aq_1][q_1Z_0q_1]$
1,2	107	17 行目	$P = \{S \rightarrow A, A \rightarrow 0BC, B \rightarrow 1, C \rightarrow 1\}$	$P = \{S \rightarrow 0BC, B \rightarrow 1, C \rightarrow 1\}$
1,2	108	13~15 行 目	…で、その心は、現在の状態 q と現在のスタックトップの記号 A 、つぎの 状態 q' の 3 つ組 $\langle q, A, q' \rangle$ を一つの記号とみなし、一つの非終端記号を表 すとするところにある。生成…	…で、それは、状態が q で、スタックトップが A である様相から、その後 に何ステップか進んで A がポップされて状態が q' になるまでの間に読み 進んだ記号列、という意味合いをもつ。生成…
1,2	108	(i) 4 行目	…初期状態である。	…初期状態である。これは、グライバッハの標準形ではないが、単位生成規則 なので、最終的には除去可能である。
1,2,3	109	5 行目	$\cdots, [qAq'] \Rightarrow^I w$	$\cdots, [qAq'] \Rightarrow^* w$
1	109	16 行目と 17~18 行目 の 2 箇所	$\cdots \cdots [q_kB_kq_{k+1}] \Rightarrow^{I-1} w$	$\cdots \cdots [q_kB_kq_{k+1}] \Rightarrow^{I-1} aw$
1	109	下から 8 行目	$\cdots \Rightarrow a[q_1B_1q_2]$ は、…	$\cdots \Rightarrow a[q_1B_1q_2]\cdots[q_kB_kq_{k+1}]$ は、…
1,2,3	110	4 行目	…、長さ $I-1$ までの最左導出に関して…	…、長さ $I-1$ までの時点表示（あるいは様相）の推移に関して…
1	112	15 行目	… vx は a と b しか含まず…	… vx は b と c しか含まず…
1	124	10 行目	…入力によっては止らない…	…入力によっては止まらない…